

チェコインベスト (ビジネス・投資開発庁)

ヤマザキマザック株式会社、 チェコ共和国にテクノロジーセンタを新設

2012年4月、世界最大手の工作機械メーカーであるヤマザキマザック株式会社が、需要拡大に伴う顧客サポート体制の強化を図る目的で、欧州で13番目のテクノロジーセンタをチェコ共和国に開設し、同



ヤマザキマザック チェコテクノロジーセンタ オープニング式典
 同社 専務取締役・営業本部長 山崎高嗣氏（創業者山崎定吉氏の3代目）、ヨーロッパ部門責任者Marcus Burton氏、Kolar氏が参列。また、州を代表して、チェコインベストの取締役 Miroslav Krizek氏とジーチャーニー市長Vladimir Koren氏も列席した。



「チェコ共和国は、常に世界の最先端を走っている。チェコの劇作家Karel Capekが演劇で初めて『ロボット』という言葉を使った1920年、チェコ共和国が毎年5000人もものエンジニアを輩出していた一方で、世界は技術者不足に悩まされていた。この事実こそが、私たちがテクノロジーセンタをこの地で開くことが最も重要だと考えた由縁である」（山崎高嗣氏の言葉より引用）

月18日に、オープニング式典を開催した。

同社ヨーロッパ部門の責任者であるMarcus Burton氏はインタビューで、「チェコ共和国は歴史上、製造業で高度な技術をもったエンジニアを数多く輩出してきた。テクノロジーセンタの新設は、同国のみならずすべての中欧諸国にとって、最新の工作機械や機械加工技術を体感できる場所として、魅力的な施設となるだろう」とコメントした。

この施設は、チェコ共和国のほか、ポーランド、ハンガリー、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、旧ユーゴ圏などの中欧諸国からもアクセスのよいプラハ郊外のジーチャーニー市に位置している。施設内には複合加工機INTEGREX i-300S、横形マシニングセンタNexus 6000-II、立形マシニングセンタ、門形マシニングセンタを含む7個の実機が展示される。

チェコ共和国は、シュコダ、フォルクスワーゲン、トヨタ、プジョーに代表される自動車産業、またエネルギー産業、航空機産業など数多くの発展した産業基盤を有している。さらに、プラハ地域一帯は、カレル大学をはじめとする数多くの技術系の大学が集まる場所としても有名である。

チェコインベストは、こうしたチェコへ進出した外国企業および将来的に投資を検討している外国企業に対するアドバイスや情報提供などの支援を行っている。

投資環境・財政支援制度などに関する詳しい情報は、チェコインベストの東京オフィス（チェコ共和国大使館内 チェコインベスト駐日代表 エリシカ・ノヴァーコヴァー、〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-16-14、チェコセンター2階、TEL：03-3486-0329、FAX：03-3486-0328、E-mail：tokyo@czechinvest.org、Webサイト：www.czechinvest.org）まで。

